



荒川河川敷の清掃活動に  
感謝状

## 関川スポーツ少年団

このたび、荒川水系水質保全連絡協議会（会長：野澤清羽越河川国道事務所長）が開催され、水質保全に関する功労者として関川スポーツ少年団に感謝状が贈呈されました。

同少年団は、2006年から2013年まで8年間にわたり荒川河川敷の清掃活動に積極的に参加するなど熱心な河川愛護活動を継続し、河川の環境保全に大きく貢献。

同少年団の船山勝雄本部長（勝蔵）は「団には、一人ひとり立派な関川村を作っていくという理念がある。団員、指導者、父母の三者がそろって参加する活動のひとつが荒川クリーン作戦で、これからも荒川をきれいにするため団として活動に取り組んでいきたい」と話していました。



## 下関駅前通りを フラワーロードに！ ～花いっぱい運動～

初夏の陽気が漂う5月31日、村商工会青年部（加藤和泰部長）と女性部（佐藤秀子部長）の共催で「花いっぱい運動」が行われました。

これは下関駅前通りをフラワーロードにしようと計画されたもので、下関保育園の年長児・年中児52人も参加。当日は赤・白・紫のペチュニア180株を60個のプランターに植え替え、園児らが関川郵便局や村上信用金庫関川支店など26事業所に「大事に育ててください」と寄贈しました。

明石朔季くん（年長児・下関）は「お花がきれいで楽しかった。ちゃんと水をやって大きく育ててほしい。また花植えをしてみたい」と喜んでいました。

5月28日、関川小5年生児童が学校田（下関地内）で田植えを体験しました。これは総合学習の一環で、農業の苦労や収穫の喜びを体験し、地域の方たちと関わることを目的に行っているもの。田植え体験には、5年生児童のほか、父母や祖父母など、田植えの講師として約20人の地域ボランティアが参加しました。

この日は、昔ながらの手植えに挑戦。ぬかるんだ10坪の田んぼに苦戦しながらも、J A関川支店から提供されたコシヒカリの苗20枚を丁寧に植えました。三須恒良くん（下関）は「田んぼがぬるぬるしていて気持ち良かった。実際に体験してみても昔の農家の人たちは大変だったんだなと思いました。おいしいお米に育ってほしいし、秋の収穫が楽しみです」と感想を話していました。秋には5年生児童が収穫し、「大したもん蛇米2013」として村内外でPRする予定です。

## 秋の収穫が楽しみ

## 泥ンコになりながら 田植えを体験！

～関川小5年生児童～



春の叙勲

佐藤啓助さん(朴坂)  
瑞宝双光章を受章



このたび、佐藤啓助さんに国から教育功労叙勲として「瑞宝双光章」が授与されました。佐藤さんは、昭和48年に県の教職員に採用されてから平成15年に退職されるまで30年間にわたり、県内小学校で子どもたちを熱心に教育され、この間、県の指導主事や管理主事としても教育行政に尽力されました。

また、旧関小学校（現関川小学校）で校長を務めていた頃は、当時の金丸小学校、沼小学校、関小学校の統合事業の推進において、保護者や地域、関係機関と連携しスムーズな統合が行われるよう努めてこられました。佐藤さんは「思いがけないことでもとてびつくりしていただきます。たくさんの人たちに支えられて無事に仕事を終えることができ、これまで協力してくれた人たちを代表していただけた勲章だと思っています。皆さんに感謝の気持ちでいっぱいです」と受章を喜んでいました。

関川村(九ヶ谷隊)惜しくも第3位  
郡市ポンプ操法競技会

6月23日、グリーンパークあらかわ（村上市）を会場に郡市ポンプ操法競技会が行われ、関川村消防団（第2分団九ヶ谷隊）が惜しくも優勝を逃したものの、第3位に入賞しました。

選手の皆さん、団員の皆さん、本当にごくろうさまでした。

■大会結果

—小型ポンプの部—

- 優勝 山北方面隊（大毎・大沢）
- 準優勝 神林方面隊（桃川）
- 第3位 関川村消防団



◆第2分団九ヶ谷隊選手紹介（敬称略）

- ・石山竜太郎（下川口） ・菅原 健（片貝）
- ・新野太一郎（金丸） ・八幡忠隆（片貝）
- ・高橋 兵栄（下川口）

今年はハーフコースを新設！  
～第40回 関川マラソン～



6月16日、第40回目を迎えた関川マラソンが開催され、過去最高となる1,000人超のランナーが初夏の青空の下、健脚を競いました。

今年は40回を記念して、ハーフコース（約21km）を新設。3km・12kmと3つのコースでレースが行われ、参加者は沿道からの応援を背に、それぞれのペースでゴール地点のふれあいど～むを目指しました。

12kmコースに出場した胎内市の内山陽介さんは「関川マラソンには初めて参加しました。少し足が痛かったのですが、無事に完走できて良かったです。景色もきれいで、とても気持ち良く走ることができました」と話していました。

レース後には、村食生活改善推進員やボランティアの皆さんが作ったわらび汁が振る舞われ、参加したランナーは疲れた体を癒していました。